

全国知事会 広報戦略について

1 広報戦略の方針

「相手に情報を伝える」ことから「相手に情報が伝わり、相手の行動が変わる」広報への転換。

【認知されるべき主要メッセージの観点】

○行動する知事会

○会長の三つの視点

「自立自尊」の地方自治

地方のプライド・尊厳を胸に、自らの意思・自らの足で立つため、地方分権の一層の推進、地方税財源の確保・充実

国と地方の責任の共有

歳出効率化を含めた財政に対する責任、施策の実施とその結果に対する責任

日本再生のモデルを地方から発信

健康長寿対策、出生率対策、イノベーション、働き方改革など地方の機動性・柔軟性を生かしたモデルの横展開と発信

2 広報戦略の強化に向けた3つの柱

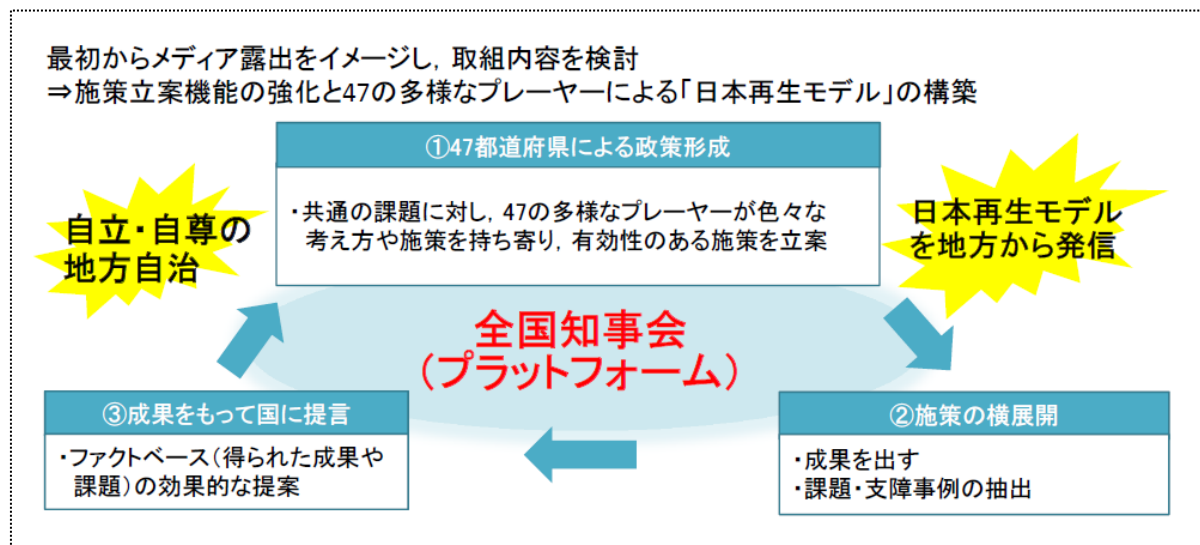
全国知事会の広報戦略強化に向けて、次の3点を提案する。

(1) 7月の全国知事会議における発信すべき情報の整理

会議における提言・要望は多岐に渡るため、上記観点を踏まえ、重点項目を3つ程度厳選し、全国知事会として、特に実現したい項目を明確にした上で、記者会見等を実施。

(2) 「行動する知事会」の具現化

国が企画立案した政策を地方が実行するのではなく、地方自ら、先進的施策を共有し、ボトムアップ的に政策を作り、それを横展開していくモデルへの変換を図る。



(3) 地方の現状に対する理解促進

地方交付税制度や地方行財政改革等の状況を正しく認識してもらうよう、国会議員、経済財政諮問会議などの国の審議会の委員、全国紙などマスメディアの論説委員等に対し、積極的に説明するなど働き掛けを実施。